

2025 年 9 月 7 日
エウレカ株式会社

ティアフォー社製 C1 カメラをセンサとして使用した

産業車両用リスク回避支援システム「シンクステラ フレキシシ C1」を発売

エウレカ株式会社（福井県福井市／代表取締役社長 西 篤史）は、株式会社ティアフォー製 C1 カメラをセンサとして使用した産業車両用リスク回避支援システム「シンクステラ フレキシシ C1」を発売します。

また、本製品は 9 月 10 日～12 日に東京ビッグサイトで開催される「第 27 回自動認識総合展」の画像認識×AI ゾーンにてデモンストレーション展示いたします。

当社は、10 年以上にわたり画像センサを使用した産業車両用安全装置を販売していますが、昨今の就業者の高齢化や深刻な人手不足による熟練工の不足などにより、より高精度かつ多機能な車両制御を可能とするデバイスへのニーズが年々顕著となってまいりました。

当社は、そのご要望の声へお応えすべく、レベル 4 自動運転で実績のある株式会社ティアフォー社製の C1 カメラを画像認識用センサとして採用した産業車両用リスク回避支援システム「シンクステラ フレキシシ C1」を新たに開発・発売することとなりました。

産業車両用 リスク回避支援システム

全メーカー
全機種
対応

シンクステラ フレキシシ

Imaging by TIER IV

ティアフォー製カメラが一般的な Arm ベース SBC で1台～最大4台まで同時接続できる、世界初の産業車両向けカメラシステムです。

あらゆる現場環境に対応可能な 高精度 AI カメラシステムシリーズ。

COMING SOON!



人と物体を判別して検知
＜自動運転で使用可能なレベルの検知性能＞

シンクステラ フレキシシ S1



ステレオカメラで実測&150°検知

ステレオカメラで、対象物までの距離を実測。

※立体的物の形状・サイズにより最大検知距離が短くなる場合があります。

ステレオ 150°/単眼 170°
距離10mの超広範囲検知を実現

シンクステラ フレキシシ M1



単眼カメラで広角170°を検知

単眼カメラで、対象物までの距離を高精度 AI が計測。

ティアフォー製
C1 カメラ搭載

【ティアフォー製 C1カメラの特徴】

120db 相当の広いダイナミックレンジ (HDR)
明暗差の大きな場面でも白飛び・黒つぶれのない映像

高感度・低ノイズ

ノイズ抑制機能により、低照度環境下でも高画質な映像

LED フリッカー抑制

ヘッドランプ、テールランプ等の LED を使用した光源によるチラつきを抑制

車載品質ハードウェア

IP69K、-40℃～85℃までの温度範囲で動作可能

自動運転モビリティでの豊富な実績

【セット内容】 ●ティアフォー製 HDR カメラ ●コントローラー ●防塵防水ディスプレイ ●各ハーネス
①本製品はすべての用途での使用を保証するものではありません。②本製品は安全確保のために設置するものであり、事故を防止するものではありません。
③本製品をご利用頂く際の注意事項などの詳細は取扱説明書をご覧ください。④掲載写真は一部実製品と異なる場合があります。

製造元

EUREKA
SOLUTIONS

エウレカ株式会社

〒918-8166 福井県福井市主計中町13-7

TEL.0776-39-1131

<https://www.eureka-sol.com/>

202509

C1 カメラ 4 台まで接続可能！C1 カメラベースの超広角ステレオカメラもご用意。

コストパフォーマンスに優れた Rockchip RK3588 を搭載した Arm ベースの SBC を使用することで、従来の C1 カメラ複数台使用のために必要としていた環境と比べて圧倒的な低コストを実現、非常にリーズナブルな価格を実現しました。画像センサは最大 4 台まで接続可能な C1 カメラもしくは、C1 カメラをベースとした基線長 10 cm の超広角ステレオカメラの 2 種類から選択可能です。

これらの組み合わせで、最大検知距離 10m、検知エリアの水平角度は、単眼カメラで 170°、ステレオカメラ 150° と超広角を実現しました。その範囲内で任意の検知エリアを自由に設定可能です。

「ヒト」だけにとどまらない検知対象

多くの単眼カメラによる産業車両用安全装置は検知対象が「ヒト」だけに限定されてしまうものがほとんどですが、当社のシステムは、「あらゆる姿勢のヒト」はもちろん、三角コーンや周囲の建設機械・自動車などをヒトと区別して検知することも可能であり、カメラから検知対象までの距離も高度に推論します。物損事故のリスク低減にも役立てることができるのはもちろん、コーンを使用して車両センサに認識可能な進入制限区画を現場で迅速に設定するなど今までにない運用も可能にします。

画像センサにステレオカメラを選択した場合は、対象物のセグメンテーションはもちろん、2 台の C1 カメラの視差を用いて測定される対象物までの正確な距離を用いた信号出力や車両制御が可能です。

AI 画像認識の精度を高める入力画像処理

高い HDR 機能をもつ C1 カメラで撮影された映像をベースに、AI に画像認識に最適化した画像処理をリアルタイムに実施することで、あらゆる使用環境下において高い画像認識能力を発揮します。屋外の建設・土木現場や倉庫・工場内などのあらゆる照度・光源・陰影条件においても高い画像認識能力を発揮します。

価格・受注開始日

価格：オープンプライス

受注開始日：2025 年 11 月 1 日

今後の展開

当社では、本製品をベースに複数台のステレオカメラを 1 台の ECU でコントロールできる仕様、複数の

C1 カメラによる鳥瞰合成映像を表示可能な仕様、C1 カメラの接続可能台数を 6 台まで拡張可能な仕様などの製品を順次追加発売し、より多くのお客様・使用現場にフィットする製品群をご提供する予定です。

また、ECU の高い処理能力を活かし、きわめて近い将来には産業車両の自動運転装置として実用化するべく、建設機械を用いた試作・試験を重ねています。

お問い合わせ先

エウレカ株式会社 メールアドレス：info@eureka-sol.com